

## 市民の皆さまと共に 新たなステージに向かって

下野市長 坂村 哲也



あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、心健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の8月に市長に就任してから初めての春を迎えたところですが、改めてこの重責に身の引き締まる思いです。今後も就任当初の気持ちを忘れず、市民の皆さまの期待に応えられるよう、誠心誠意、全力で市政運営にまい進してまいります。

昨年は、施設一体型の義務教育学校として南河内小中学校が4月に開校し、小中一貫9年間を生かしたカリキュラムのもと、先進的な学校教育がスタートしました。小・中学校の枠を超えた柔軟な教育活動の実践により、児童生徒1人ひとりの学力向上につながるものと期待しております。

12月には、石橋公民館と石橋児童館の複合公共施設をオープンいたしました。先行オープンの民間施設との相乗効果を発揮し、地域交流拠点施設として、新たな人の流れとにぎわいを創出し、人と人との交流を通じ、幸福感の向上に寄与するものと考えております。

また、現在整備中の「しもつけ産業団地」につきましては、今月から予約分譲の募集が始まります。優良企業の誘致に努め、新たな雇用の創出と地域経済の活性化を図ってまいります。

このほか、スマートIC整備事業やJR3駅の周辺整備など、本市の地理的優位性を十分活用するための取り組みを着実に進めてまいります。

長引くコロナ禍やウクライナ情勢に伴う原油価格や物価の高騰などにより、市民生活や経済活動は大変厳しい状況に直面しております。感染症対策や経済対策を引き続き講じつつ、将来にわたり持続可能で、安全安心なまちづくりに向け、適時必要な対策を推進してまいります。

今年は市長就任2年目となる年です。第二次総合計画後期基本計画に掲げる取り組みを着実に推進し、多くの方に住んでみたい、住み続けたいと思われる「人や企業に選ばれるまち」を目指し、皆さまと共に新たなステージへジャンプアップするための充実した年にしたいと思っております。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多く明るい年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 新しい風とともに

下野市議会議員 石田 陽一



あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より議会運営に温かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年の議員改選により、下野市議会は8人の新たな議員が誕生し、身も心も一新して議会活動がスタートしました。

今なお私たちの生活や健康に影響を与えている新型コロナウイルスの発生から4年目を迎えましたが、いまだ収束が見通せず、警戒しながらも共存する未来の社会生活を見据えて、少しずつ事業が展開されてきているところです。

行動の自粛を余儀なくされた議場での傍聴も、開かれた議会の推進と感染対策の在り方について検討を重ね、昨年6月からは人数を制限したうえで入場を再開いたしました。

8月には、市内中学校・義務教育学校から選ばれた中学生議員による「中学生議会」を3年ぶりに開催し、各学校4名の中学生議員が市議会議員の役割を体験しました。市執行部との対面で緊張感のある市議会の雰囲気、肌で感じ取ることができたのではないのでしょうか。

コロナ禍で実施を見送っていた市議会主催の講演会や、市内の各団体と常任委員会との懇談会も、感染防止策にご協力をいただきながら実施することができました。

一方で市議会では、「議会活性化特別委員会」を設置し、さらなる議会改革へ向け議論を重ねているところであります。これらの歩みを止めることなく、二元代表制の一翼を担う立場として、さらなる推進に努めてまいります。

今年も感染対策をとりながらの議会活動となりますが、議員全員が力を合わせ、市民の皆さまに「住みつけたい、住んでよかった」と思っただけの街づくりにまい進してまいります。今後とも市議会に対し、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして、幸多き一年になりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。